

佳作

はじめのなわとびたいかい

鹿児島県 鹿児島市立春山小学校一年 川邊 鼓太郎

「こんどこうみんなのなつまつりでなわとびきようそうがあるんだって。さんかする？」

おかあちゃんがきいたけど、ぼくはすぐに、「いやだ。でない。」

とこたえました。なぜかというところぼくはなわとびががてなのでぜったいにまけるとおもったからです。

でもおかあちゃんは、「れんしゅうしてみたら？さんかしようももらえるんだって。」

とぼくにでてほしいみたいです。

「うーん、わかった。」

ぼくはほんとうはいやだったけどさんかすることになりました。

「よし、なわとびのとっくんだ。」

おとうちゃんとのれんしゅうがはじまりました。

たね。」

とほめてくれました。しごとでおまつりにいけなかったおとうちゃんもどうがをみて、

「こたろうのとびかたがはじめのころとぜんぜんちがう。がんばったしようこだ。」

とぎゅっただっこしてくれました。

もしらいねんもなわとびきようそうがあったら、こんどはゆうしようしたいです。くろすとびにもちようせんしてみたいな。

じょうずにとぶこつは、「どんっどんっ」とばないでかるとぶこと。そしてゆかにつけたしかくのとえぶからはみださないようにとぶことです。

ぼくはだんだんとぶのがじょうずになったようなきがしました。

いよいよなわとびきようそうのほんばんです。ぼくは「かてるかなあ」とどきどきしながらぶたいにあげりました。すたあとのあいずでぼくはむちゅうでとびました。となりのともだちがひっかかったのがみえました。「まだまだとべるぞ」とおもったそのとき、ずぼんがずれていくのにきづきました。

「あっ、ぱんつがみえちゃう」。ぼくはとぶのをやめてずぼんをもちあげました。「まけちゃった」。ぼくはくやくしてなみだができました。さんかしようのはなびをもらったけど、ぼくのなみだはとまりませんでした。

「がんばったね。すごいよ。」

ちかくでみていたばあばといもうとがほめてくれました。おこづかいをもらっておかあちゃんのいるかきごおりやさんにいきました。

「かきごおりをつくりながらこたろうがいっしょうけんめいとぶところがみえたよ。じょうずになっ